

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築環境総合性能評価システム2016 名古屋中規模建築物環境総合性能評価マニュアル2016 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	名古屋大学(東山)地域連携グローバル人材育成拠点施設新築工事	階数	地上9F
建設地	名古屋市中種区不老町1番他16筆	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	1,800 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年12月 予定	評価の実施日	2021年1月15日
敷地面積	243,660 m ²	作成者	
建築面積	4,843 m ²	確認日	2021年1月22日
延床面積	17,053 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE1.9

★:S:★★★★★ A:★★★★★ B:★★★★ B:★★★ C

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆ 100%超:☆☆☆ 100%:☆☆☆☆ 80%:☆☆☆☆☆ 60%:☆☆☆☆☆ 30%

標準計算

①参照値	46
②建築物の取組み	8
③上記+②以外のオンサイト手法	6
④上記+オフサイト手法	6

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 3.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 4.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 4.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
1.異分野間連携を促進し、高機能・高柔軟性を実現する“知の拠点” 2.交流の連鎖を生み出す“プラットフォーム”とキャンパスの新たな顔づくり 3.持続可能性を追求したキャンパス 以上の3つを重視した計画。		大学の研究実験棟と福利厚生棟という特性を考慮した建築・電気・機械設備計画。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
遮音、温熱環境、光・視環境、空気質環境に配慮し、快適な空間を計画。	機能性、耐用性・信頼性、対応性・更新性に配慮し、維持管理しやすい施設を計画。	周辺の景観とバランスよく調和するデザインを計画。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
効率の良い設備計画により省エネ化を図る。	有害物質を含まない建材を選定。	雨水流出抑制の対策を実施。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

名古屋大学(東山)地域連携グローバル人材育成拠点施設新築工事

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策				3.4
LR1	エネルギー	3.5	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	0.0	0	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.075	
2. 自然共生				3.8
Q3.1	生物環境の保全と創出	4.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	4.0	0.045	
3. 循環型社会				3.7
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.9	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.3	0.028125	

結果

1. 温暖化対策	評価点 = 3.4	
2. 自然共生	評価点 = 3.8	
3. 循環型社会	評価点 = 3.7	

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3.3.1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3.2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3.3.1の全体に対する重みに0.2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3.2.3のうち、LR3.2.3.3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3.2.3の評価点とは異なるものである。